

## 令和2年度 第4回原村総合計画審議会

- 1 日 時 令和2年10月9日(金) 13:30~17:30
- 2 場 所 役場3階 講堂
- 3 出席委員 小平恒夫会長、半田裕委員、百瀬嘉徳委員、北原貴穂委員、  
清水武義委員、永田せつ子委員、小林英夫委員、宮坂早苗委員、  
石川高明委員、小倉輝久委員
- 4 説明者 伊藤弘文総務課長、秋山雄飛総務係長、阿部祐子企画振興係長、  
小池典正住民財務課長、牛山輝明農林課長、平出甲貴農政係長、  
行田淳一農村整備係長、中村潤建設係長、行田康環境係長、  
百瀬則夫上下水道係長、三溝章消防室長
- 5 事務局 伊藤弘文総務課長、阿部祐子企画振興係長、小池祐貴企画振興係員  
行田裕貴企画振興係員
- 6 欠席委員 野明晃副会長、斎藤志穂委員
- 7 議 事
- 伊藤総務課長 定刻により会議を開会する。  
野明副会長は欠席、斎藤委員は確認中です。  
はじめに小平会長よりあいさつをお願いします。
- 小平会長 早速審議を始めたいと思う。  
前回の会での質疑に対する回答について説明をお願いします。
- 阿部企画係長 (資料1、資料2について説明)
- 小平会長 質問はあるか。
- 半田委員 80ページについて、目標値に変更はないか。
- 阿部企画係長 目標値に変更はない。
- 伊藤総務課長 86ページ具体的な施策①について  
検討していく予定です。⇒検討します。に訂正する。
- 小平会長 基本目標1「人と自然を大切にしたい美しく住みよい村づくり」について  
説明をお願いします。
- 行田環境係長 (1-1-1 から 1-1-4 まで説明)
- 中村建設係長 (1-1-5 について説明)
- 行田環境係長 (1-1-6 について説明)
- 小平会長 質問はあるか。
- 半田委員 1-1-2 について若い世代向けの施策は考えているか。
- 阿部企画係長 1-1-2 について、学校や地域と連携して、広い世代にわたり美しい村づくり  
への取組を推進します。に修正する。
- 石川委員 支障木伐採の基準は
- 中村建設係長 車道は4.5m、歩道は2.5m上空の支障木を伐採している。
- 石川委員 見回りをお願いしたい。

行田環境係長 1-1-3 の事前質問について、住民参加をどのようにしていけるか具体的な施策を考えていきたい。

半田委員 計画にも記載していくか。

行田環境係長 記載する。

宮坂委員 1-1-3 について、地区によって植栽の方法は違うと思うが、村にあった樹種を選ぶことは考えているか。

1-1-4 について、原村環境衛生自治推進協議会ではなく、原村保健衛生自治推進協議会では。また、SDG s の 14 を入れるべきではないか。

行田環境係長 樹種については、検討していない。今後農林課と検討していきたい。

1-1-4 についてはご指摘のとおり。SDG s についても入れる。

小平会長 1-1-1 の自然環境かもつ許容能力の限界とは具体的にどのような意味か。

行田環境係長 できるだけ緑を残すという意味でそのように表現している。

小平会長 他になければ、1-2-1 から説明をお願いします。

行田環境係長 (1-2-1 から 1-2-2 まで説明)

平出農政係長 (1-2-3 について説明)

小平会長 質問はあるか。

石川委員 1-2-2 について、ごみ処理において原村の負担する金額はどの程度か。

行田環境係長 諏訪南清掃センター負担金約 6,200 万円、  
南諏衛生施設組合負担金約 6,200 万円、  
可燃物の収集運搬約 900 万円、資源物の収集運搬約 550 万円、  
資源物收取運搬に係る中間処理約 200 万円、  
紙の売却約 60 万円であるが、民間業者の取組もあり売却を始めた当初からは売却額が減少している。  
ごみの量とかかる費用の関係はつかめていない。  
施設の負担金については、均等割が 20%、人口割 80%である。

石川委員 県内のごみ排出量は減っている、取組の見える化をするなどして、県内上位を目指すよう願う。

半田委員 21 ページの達成指標について前期基本計画との違いは。

行田環境係長 前期計画の数値は誤りであり、後期基本計画案の数値が正しい。

半田委員 23 ページについて、達成指標「主要河川の窒素量」を削除した理由は。

平出農政係長 集中豪雨などで土が流れ出て、変動が激しく指標設定が難しいと考える。

宮坂委員 1-2-1 から 1-2-3 にはSDG s の 12 を入れるべきでは。

伊藤総務課長 今後検討する。

小平会長 他になければ、1-3-1 について説明をお願いします。

行田環境係長 (1-3-1 について説明する。)

小平会長 質問はあるか。

半田委員 二酸化炭素の排出の削減については、議員からも要望がある。  
より具体的な取組が必要ではないか。

行田環境係長 次回までに検討する。

北原委員 施策の実現可能性や取組の優先性を踏まえて検討していただきたい。

伊藤総務課長 半田委員からの事前質問、原村新エネルギー・省エネルギー推進委員会の活動実績については、H17年度・H19年度に地域新エネルギービジョン、地域省エネルギービジョンを報告書として策定、H22年度にカラマツストーブ H25年度に講演会、H26年度に諏訪東京理科大学の先生による講演。その後はない。今後の推進の仕方は検討したい。

小平会長 他になければ、1-4-1について説明をお願いします。

行田農村係長 (1-4-1について説明)

百瀬水道係長 (1-4-2について説明)

行田環境係長 (1-4-3について説明)

百瀬水道係長 (1-4-4について説明)

小平会長 質問はあるか。

石川委員 日本の水道水の水源の7割は表流水である。原村が地下水を100%水源としていることは広報できるのではないか。

北原委員 28ページの指標について、説明をお願いしたい。

行田環境係長 浄化槽内部の清掃率である。

北原委員 清掃率の出し方は。

行田環境係長 村で把握しているすべての浄化槽における、清掃の割合である。2年に1回の清掃をお願いしている。

小林委員 27ページの鉛管について、まだ鉛管はあるのか。

百瀬水道係長 各戸給水管にはあると思われる。

小林委員 漏水率はどうか。

百瀬水道係長 有収率が75%くらいなので、約30%は漏水していると思われる。

半田委員 27ページの指標の目標値は、単年度の数値にすべきでは。29ページの指標について、維持管理を評価できる指標にすべきでは。

百瀬水道係長 27ページについては、単年度の数値にしたい。29ページについては、管路調査の数値を指標としたい。

小平会長 質問なければ休憩にする。(15:17)  
(休憩)

小平会長 審議を再開する。(15:30)  
1-5-1から説明をお願いします。

阿部企画係長 (1-5-1について説明)

行田環境係長 (1-5-2から1-5-3について説明)

阿部企画係長 (1-5-4について説明)

小平会長 質問はあるか。

小倉委員 1-5-2について、公営住宅の入居者募集をしているが、低所得者向けとしながら家賃が5万円台と高すぎる。居住希望者に対して住居の提供ができていないのではないか。人口増に向けた施策が足りないのではないか。

- 具体的な施策につなげていただきたい。
- 行田環境係長 現在ある低所得者向け公営住宅の家賃は、1万2千円から2万2千円である。現在は満室となっている。  
空き家調査を実施しているが、空き家は約90棟あった。  
空き家の所有者には、空き家バンクへの登録をお願いしている。  
今後、空き家の利活用を検討していきたい。  
若者定住住宅補助金について、来年度以降新しい施策を検討している。
- 小倉委員 村のホームページに公営住宅として、特定優良賃貸住宅も掲載されているが、改善すべきでは。子育て世代に対して手厚い制度設計を。
- 石川委員 移住・定住について、どういう人に移住してもらいたいのかターゲットを想定して施策を展開すべきではないか。  
また、空き家対策とシェアハウスは相いれないのではないか。
- 半田委員 具体的な施策②は、住宅団地のままでよいか。  
造成は、村単独か、民間との協力か。
- 伊藤総務課長 民間での供給が基本であるが、必要であれば造成を検討したい。
- 小平会長 1-5-3の大規模とは。
- 行田環境係長 村環境保全条例より3,000平米以上を基準としている。
- 小平会長 空き家の利活用について、具体的なリフォームへの補助などを検討していただきたい。
- 伊藤総務課長 空き家対策について、一体的に取り組めるよう検討している。
- 小平会長 他になれば、1-6-1から説明をお願いします。
- 中村建設係長 (1-6-1から1-6-3について説明)
- 阿部企画係長 (1-6-4、資料4について説明)
- 小平会長 質問はあるか。
- 石川委員 鉢巻道路について、歩道設置の状況はどうか。
- 中村建設係長 県が富士見高原スキー場の辺りから原村方面に整備をしている。
- 石川委員 移住と公共交通について、子育て世代が原山の方に移住している。  
公共交通での通学が理想であったと考える。  
公共交通と子どもの通学については、立ち止まって検討するべきと考える。
- 伊藤総務課長 通勤通学支援便の需要は増えてきている。  
茅野市の動向に注視しながら、地域公共交通計画を策定していきたい。
- 石川委員 教育委員会での通学バスの利用についてもデータとして把握していただきたい。
- 伊藤総務課長 データより乗車人数に影響があるような特記事項があれば次回お示しする。
- 半田委員 村内での公共交通の利用が課題であると考え。  
村内での公共交通での利用促進について注力していただきたい。
- 伊藤総務課長 公共交通は、村外への移動にも利用されるため高速バスとの接続等についても検討していく。
- 宮坂委員 1-6-3の指標について、歩行者が安全に歩くための整備に係る指標を追加

- していただきたい。
- 中村建設係長 歩道設置やグリーンラインの設置について、指標を検討する。
- 百瀬委員 指標の交通事故の年間発生件数について、17件以下にした方がいいのでは。
- 中村建設係長 ご指摘のとおり変更する。
- 北原委員 事前質問を教えてください。
- 伊藤総務課長 今後の審議においては会議資料として配布し、今回分についても会議終了までに配布する。
- 北原委員 34 ページの具体的な施策③や 35 ページの具体的な施策③と④など実現可能性の高い施策については、具体的な施策の中でも上位に位置すべきではないか。
- 中村建設係長 ご指摘のとおり変更する。
- 清水委員 中央自動車道を利用するための公共交通等の整備も進めるべきと考える。
- 小平会長 1-7-1 から説明をお願いします。
- 三溝消防署長 (1-7-1 から 1-7-2 について説明)
- 秋山総務係長 (1-7-3 について説明)
- 三溝消防署長 (1-7-4 について説明)
- 中村建設係長 (1-7-5 について説明)
- 小池住財課長 (1-7-6 から 1-7-7 について説明)
- 小平会長 質問はあるか。
- 半田委員 1-7-1 について、女性消防団員にはどういった役割を求めるのか。  
1-7-4 について、緊急メールの登録者数の目標値の根拠はなにか。
- 三溝消防署長 一人暮らしの高齢者への見回り、消防団活動の普及啓発などである。  
現在、活動を精査・検討している。
- 伊藤総務課長 緊急メールの登録者数の目標値については、次回までに確認する。
- 半田委員 女性団員は、現在は本部員として配属されているが、今後は各機関に配属になるのか。
- 三溝消防署長 現在、検討中である。
- 半田委員 今後、女性消防団員の役割を明確にしていきたい。
- 宮坂委員 1-7-6 について、消費生活サポーターは消費者の会の会員か。
- 小池住財課長 社会福祉協議会の方などボランティアで7名登録している。
- 宮坂委員 環境に関わる記載を削除しているが、削除された部分は環境に関わる項目へ反映されているのか。
- 小池住財課長 削除された項目は、すでに一定の成果があったものと考えている。
- 小平会長 なければ審議は以上とする。  
その他あるか。
- 伊藤総務課長 今回は、10月21日(水)午後1時30分から  
以上で、閉会とする。(17:30)